

大俣小だより

「気づき・考え・行動し、話し・伝える」児童の育成

10月号



「生きる力」を育むために

本校の教育課程は、保護者の皆様だけでなく、多くの地域の方々にも支えられています。

「上池への花植え」「コスモスの播種」「中池へのEMだご投入」「稲作体験」などには、多くの方々が関わってくださっています。そして、今年度は、久しぶりに「じょうれい踊り」などが復活しました。

これらは、学校教育目標にある「ふるさとを愛する」児童の育成には欠かすことのできない体験活動です。この体験を体験だけに終わらせず、子どもたちの「生きる力」をはぐくむ基礎となり、成長の糧となるよう取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、保護者の皆様、地域の皆様のご理解・ご協力をよろしく願いいたします。

充実した秋にしよう！



朝夕が涼しくなり、秋の気配を感じられる季節となりました。「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」など、様々な活動に取り組みやすい季節です。地球温暖化の影響で、短い秋となりそうですが、子どもたちには、秋を楽しみ、充実した日々を過ごしてほしいと願っています。

基本的な生活・学習習慣の定着は、なぜ大切なのか

全国学力・学習状況調査結果によると、次のことが言われています。

- 1 学習に対する関心・意欲・態度、読書・学習時間、基本的な生活習慣、自尊感情・規範意識などの項目で、肯定的な回答又はその時間が長いと回答した小中学生ほど、学力との相関関係が高い。
- 2 家庭での生活・学習習慣の学力との関係等、「家で学校の宿題をしている」「朝食を毎日食べている」「学校に持っていくものを前日か、その日の朝に確かめている」などの生活・学習習慣に関する項目の影響が大きい。

子どもたちの未来のために、望ましい習慣を身に付けられるよう、学校と家庭・地域との連携をお願いいたします。

ありがとうございました!!

10月1日の参観授業並びに奉仕作業、ソフトバレーボール大会には、多くの方々にお越しいただき、感謝申し上げます。

早朝7時からの草刈り・木の剪定には、8名の方が参加してくださり、たいへん助かりました。ありがとうございました。その後の愛校奉仕作業も、草取りや落ち葉掃き、溝掃除、窓ふきなど、普段教職員と子どもたちだけではやり切れないところも、とても美しくなりました。子どもたちは、保護者の皆様と一緒に活動することで、環境を整えてくださることへの感謝の気持ちをもつことができたと思います。

また、4年ぶりに開催したソフトバレーボール大会では、PTA 会員同士の親睦を図れたことと思います。今後も、ソフトバレーボール大会同様、PTA 活動へのご協力をよろしくお願いいたします。